

ひの 議会だより

No. 126

令和2年10月

発行/鳥取県日野町議会



新連載
スタート!

日野に生きる

第1回 下黒坂初音句会
～四季のある暮らしの中で～

裏表紙に記事が掲載されています。

ひの議会だより126号 主な内容

- ・ 臨時議会(7月29日)緊急コロナ対策補正予算……………P2～4
- ・ 9月定例議会一般会計補正予算、条例改正……………P5～6
- ・ 平成元年度決算審査特別委員会/審査報告……………P7～9
- ・ 議会常任委員会活動報告……………P10～11
- ・ 一般質問(4人)……………P12～15

令和2年度
臨時議会
7/29

補正予算 1億8502万5千円を追加

徹底した感染予防対策を取り、経済/産業/農業/子育て/教育/福祉/医療/観光など幅広い分野に対し、限られた予算で最大の効果を
目指しこの苦難を乗り越えるための補正予算。

財 源	
国からの交付金・補助金	1億6724万4千円
県からの補助金	19万3千円
町の基金	558万8千円
プレミアム商品券の売り上げ	1200万円
総 額	1億8502万5千円

一般会計 補正予算

主な内容

○新型コロナウイルス感染症対策

▼移動販売車の除菌のため
除菌効果のあるオゾン脱臭
機を購入 40万円

▼指定避難所用備品（マス
ク、消毒液、冷風機、サ
イモカメラ、A-I搭載非接
触温度センサー等）を購入
2494万2千円

▼分散業務のために庁舎と
山村開発センターのLAN
配線を整備 112万2千円

▼金持テラスと金持神社札
所に空気清浄機とA-I搭載
非接触温度センサーを設置
157万8千円

▼庁舎前にコロナ情報等を
掲示する電光掲示板を設置
1042万円

▼議場と議員控室に設置す
るアクリル板を購入 23万1千円

▼百歳体操助成金等フレ
イル対策（介護予防）
273万4千円



体温測定
最速測定距離：50cm
入り口に設置されたA-I搭載温度センサー

補正予算とは？
補正予算とは、当初予算内容を変更
するように組まれた予算のことをい
います。

▼介護保険施設の感染予防
対策の備品（アクリル板、
手洗い設備、オンライン面
会機器、車いす）の購入に
補助金 720万円

▼町内全世帯にマスクと消
毒液を配布 972万2千円



このQRコードをスマートフォンやタ
ブレットで読み取ると「日野町ホ
ムページの新型コロナウイルス関連
情報ページ」へアクセスできます。

▼飲食店宿泊施設への休業
要請を行った場合の協力金
250万円

○産業活性化・観光促進

▼日野町内をまわる謎解き
クイズ実施 951万3千円

▼教育委員会事務局の消毒液
4万2千円

▼根雨小学校の予防対策備品
188万3千円

▼観光促進ウォーキンググ
イベント等実施 518万1千円

▼黒坂小学校の予防対策備品
142万5千円

▼リバーサイドひののレン
タサイクル事業等支援 190万円

▼日野中学校の予防対策備品
185万8千円

▼鵜の池キャンプ場の整備
1569万7千円

▼図書館にA-I搭載非接触
温度センサーを設置 107万8千円

▼下樓隣保館の予防対策備品
21万8千円

▼老人憩の家の予防対策備品
21万8千円

▼保育所の予防対策備品
72万3千円



鵜の池キャンプ場に集まるキャンパーが
多くなっている

○事業・雇用支援

▼アグリサポートひのによ
る仕事づくり支援 320万円

▼林業の雇用を守るために
宝仏山登山ルート整備 310万円

▼林業の雇用を守るための
間伐補助金 100万円

▼日野町持続化給付金の追加
（50万円×30事業者）
1500万円

▼日野町家賃支援給付金
180万円

▼融資利子補助金 30万円

▼プレミアム付き商品券
3135万4千円

▼昼食限定飲食店スタンプ
ラリー 300万円

▼町商工会の運営費補助金
の増額 50万円

▼都合山たたら街道の修繕
工事 255万2千円

▼新生児への特別定額給付
金支給 100万1千円

○子育て世帯支援

▼ひとり親世帯臨時特別給
付金 353万8千円

▼ひとり親家庭及び障害児
養育家庭への生活支援給付金
188万1千円

▼大学生等の保護者に対し
て支援給付金 1001万2千円

▼子育て世代へ教材費全額
補助等の支援 200万3千円

▼学校給食費全額補助等の
支援 370万円

▼夏休み子ども教室スタッ
フ増員 39万1千円

○教育費

▼義務教育学校設立に伴う
学校跡地利用検討委員会へ
の報酬 10万8千円

Premium 150
日野町プレミアム付地域応援商品券
6,000冊 限定発売
1冊2,000円で
5,000円分の
お買物やお食事ができて
3,000円
お得!!!

9月7日
午前8:30より 販売開始
販売場所 日野町役場出納室
日野町役場黒坂支所
※出張販売も行います(詳しくはチラシ裏面)。

販売期間 9月7日～10月30日まで
販売対象者 ① 日野町民
世帯主宛てに購入引換券を送ります。
購入者本人および同じ世帯の方が
一括購入できます。
② 町内に通学・通勤の方
別途申請が必要です。その後、購入引換券を送付します。

商品券購入価格
1冊 2,000円
(500円×10枚割り＝5,000円分)
1人2冊まで購入可能
商品券利用期間
令和2年 9月15日～1月31日
令和3年 9月15日～1月31日

取扱店舗 チラシ裏面に、取扱店舗一覧を掲載しています。
(町内指定店舗)

お問合せ 日野町役場産業振興課 ☎ 0859-72-2101

日野町版プレミアム商品券。日野町への
通勤・通学者も購入可能。

質疑

学校跡地利用の検討委員会について

議員 義務教育学校設立に伴う、学校の跡地利用の検討を検討委員会に任せるだけでなく、町役場でもプロジェクトチームを立ち上げるべきでは。

町長 町役場でもプロジェクトチームを作ります。

議員 検討委員会の位置づけとスケジュールはどう考えていますか。また、委員はどう決めますか。公募はしますか。

町長 検討委員会には具体的な案を出していただき、その案は実行していただきたいです。スケジュールはできるだけ早く進めたいです。委員の人選については公募も考えたいです。

持続化給付金について

議員 基準となる期間は。

課長 今年の1月から12月を期間とし、前年同月比で算出します。

議員 農林業者への周知はどのようにしていますか。

課長 ホームページと広報誌とチャンネルひひで行っています。JA等でチラシ配布もしています。

商品券の利用率は

議員 この度もプレミアム商品券を発行しますが、第1弾として6月に発行した食事券と商品券はどれくらい利用されていますか。

課長 7月時点で3分の1が利用されています。

電光掲示板設置について

議員 役場前に1000万円もの巨額費用をかけて設置する電光掲示板の対象者と目的を説明してください。

課長 役場と根雨駅の利用者が対象です。コロナ関連の情報を発信するのが主な目的ですが、観光情報等の発信も考えています。金持テラスひひの設置した方が多くの人に情報発信できるのでは。

議員 生徒児童の活動情報等も発信していくので根雨のまちなかでもある根雨駅前に設置したいです。

課長 総務課と企画政策課で行います。

コロナ対策備品購入のスケジュールは

議員 コロナ対策備品の調達方法と配布時期は。

課長 調達先は入札で決めます。冬までには配布する予定です。

議員 現在の備蓄状況は。

課長 7月時点でマスクは2万5千枚の備蓄があります。7万3千枚をさらに購入予定です。

大学等在学生生活支援給付事業について

議員 大学等在学生生活支援給付事業の対象者基準は。

課長 保護者が日野町在住であることが条件です。周知は広報やチャンネルひひのや防災無線で行います。



中学校の修学旅行はいつなる

議員 中学校の修学旅行は中止のままですか。

課長 コロナの影響で中止となりましたが、今後については未定です。

臨時議会 一般会計補正予算 採決

賛成議員
中山 法貴
梅林 敏彦
山形 克彦
金川 守仁
松尾 信孝
中原 信男
安達 幸博
佐々木 明文
竹永 明文

審議された議案は、すべて全員賛成で原案のとおり、可決されました。

一般会計補正予算 採決

令和2年度
9月定例議会
9/4~9/25

日野病院に感染症専用検査棟を新たに建設

9月定例会は、9月4日から25日まで開催されました。9月定例会は令和元年度の決算の認定がメインですが、そのほかにもいくつかの条例の改正や補正予算が提案され、いずれも賛成多数で可決されました。主な議案は以下の通りです。

主な支出

約4億2千万円を増額しました。その結果、本町の一般会計予算総額は約46億5千万円となりました。(昨年度の予算総額は約36億6千万円) 補正予算の財源としては、国から支給される「地方交付税」が約1億9400万円、町の借入金となる「町債」が約7千万円、昨年度使わなかった「繰越金」が2億8千万円などです。その結果、当初予定していた基金からの繰入金金は約1億3500万円減らすことができました。

○日野病院新型コロナウイルス対策棟建設負担金

2400万円
感染症対策の協力病院に指定されている日野病院が、感染症(コロナ)の検査を



日野病院



築30年を経過した桜の苑

○西部広域行政管理組合負担金

1478万円
西部広域が運営する米子

これについては、現在日野病院独自で約5億円の余剰金を持っているのに、なぜ新たに構成町から資金を集めるのかという質疑がありました。(参考)日野病院は、日野町、江府町、伯耆町の3町により設立されている組合立の病院で、日野町が一番多い80%を負担しています。

○久住集会所体育館改修工事
建物老朽化に伴う雨漏り等対策等
626万円



久住地区集会所(黒坂小学校旧久住分校体育館)

にある火葬場「桜の苑」が、建設以来30年経過し、老朽化が進んでいるので大規模改修を行う資金の分担金。

○根雨地区浸水対策事業追加支出
5660万円

地元と協議して実施設計を行いました。結果、設計費、工事費の増額が必要となりました。

介護保険補正予算

○介護給付費準備金積立金
2084万円

一昨年介護保険料の引き上げを行いました。一方でさまざまな努力の結果、保険給付費が下がったため、多額の剰余金が発生しました。これを将来に備えて基金に積み立てることとしました。

条例の改正

○手数料徴収条例の改正
個人番号の通知カードが廃止されることに伴い、カード再発行に係る手数料の部分削除します。

委員会付託事件の審査報告

◇陳情書
教育民生常任委員会
・教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出（意見書第4号）

◇意見書第3号
・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出

◇日野町議会会議規則の一部改正について
（参集）

第一条 議員は、招集の日会議定刻前に議場に参集し、その旨を議長に通告しなければならない。
ただし、議場が使用できない場合は、議長が別に指定する場に参集する。と傍線の部分を追記します。

9月定例議会議案採決

令和2年 第7回日野町議会定例会(9月度)議案採決	中山法貴	梅林敏彦	山形克彦	金川守仁	松尾信孝	中原信男	安達幸博	佐々木求	竹永明文	採決
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2021年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情(教育民生常任委員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度日野町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
令和元年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和元年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和元年度日野町後期高齢者医療保健特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和元年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和元年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和元年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和2年度日野町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
日野町議会会議規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和元年度
決算審査
特別委員会
9/7, 14, 15, 16, 23, 24(6日間)

議会は決算審査特別委員会を設置して、9月4日、9月25日までのうち7日間、令和元年度一般会計及び特別会計の決算を、監査委員の意見書及び各担当課から説明を受け、審査の結果、賛成多数で認定しました。

※決算審査特別委員会とは、例年9月議会において、前年度の決算を審査するために編成される特別委員会です。本町議会では、議長と議会選出の監査委員を除く8名の議員で構成され、予算の執行の結果について町長および各担当課より説明を受けてその妥当性を審査します。そこでの議論は翌年度の予算の編成や審議に大いに参考となるものです。

反対

賛成

とであり、差別解消の第一歩であり、次年度予算に向けた最大の課題であることを述べ、不認定の討論とします。

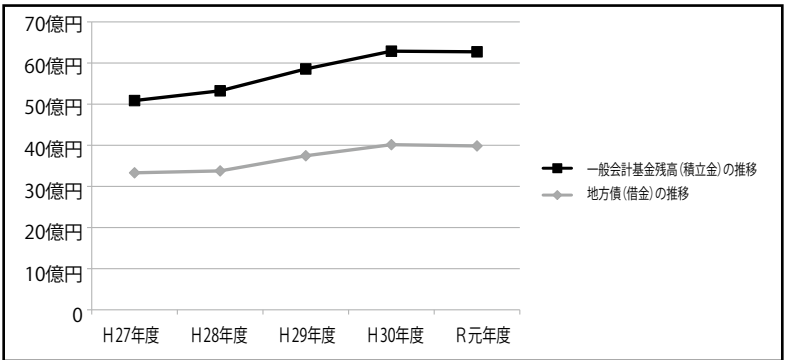
最大の問題点は、例年のように同和对策事業関連の予算が執行されていることです。それは同和行政のこうしたやり方であり、決して真の差別解消にはならなかったし、ならないということです。町民の貴重な財源を使うことを認めた私たち議員にも、その責任が厳しく問われます。

2002年に同和对策事業特別措置法が失効し、16年間根拠なき支出が行われ、部落差別解消推進法が制定されました。これは差別を具体的に示したもので、事業の終了目標を示したものでありません。このまま推移すれば二重の誤りを私たちは犯すことになり、一日も早い終結をこそ願う者としては絶対に容認できないことであるだけでなく、予算の執行が差別を容認し、町民に多大な負担を強いるものになってしまふと考えます。住民の代表の一人として社会的正義にきちんと向き合うことが私たちの使命です。同和对策事業の「終結宣言」こそ求められていること

令和元年決算は、町制60周年に伴い事業が実施され、中でも庁舎の空調設備リニューアル、防災基地の設備整備などによる安心安全なまちづくり、住民サービスの推進など町民の福祉の向上に資する事業が行われた。財政面に関しては、公債費比率が単年度で5.97%、また、3年平均で7.0%となり財政の健全化が推進された。以上の観点から、決算委員会が示された結果報告のとおり、認定することに賛成の討論とします。最後に付け加えていただきますが、同和関係の事業に関して、平成28年12月における国会において、新たな法律である部落差別解消推進法の趣旨をわが町、日野町も十分踏まえていると認識しています。以上のことを踏まえて賛成討論とします。

令和元年度 決算審査	
歳入総額	3,575,786,420円
支出総額	3,293,083,271円
差引額	282,703,149円

一般会計基金残高と地方債（借金）の推移



日野町財政健全化判断比率

健全化比率	早期健全化基準	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実質赤字比率	15%	—	—	—
連結実質赤字比率	20%	—	—	—
実質公債費比率	25%	11.6%	8.5%	7.0%
将来負担比率	350%	—	—	—

※実質公債費比率とは…

地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債額）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。



講評

1 審査事件

令和元年度日野町歳入歳出決算認定について

2 審査対象

- 令和元年度日野町一般会計歳入歳出決算
- 令和元年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 令和元年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算
- 令和元年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算
- 令和元年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算
- 令和元年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 令和元年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

4 審査結果

1 結果
賛成多数で認定すべきものと決定した。

2 理由

一般会計及び6特別会計の決算について、提出された関係書類を基に審査を実施した。審査にあたっては、担当課からの聞き取り、また、必要に応じて資料の提出も求め審査した。その結果、一般会計決算書、特別会計決算書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は正確であり、予算執行も適正に行われているものと認められた。

5 会計ごとの所見

1 一般会計

決算では、翌年度へ繰越すべき財源197万5千円を除いた実質収支が、2億8072万8149円と黒字決算でおおむね良好である。

① 歳入に関する事項

調定額36億6393万45

39円に対し、収入済額35億7578万6420円で収納率は97・59%で、前年度と比較してわずかではあるが上回った状況となっている。

収入未済額（未納額）は8814万8119円で、前年度と比較して241万3919円減少しているが、この要因としては住宅新築資金等貸付金等の回収が進んだことなどが要因と考えられる。

未納額の内訳を見ると、町税が1477万1550円、住宅使用料314万9603円、住宅新築資金等貸付金5702万4652円、災害援護資金貸付金1318万8314円などとなっている。

未納額の大半を占める、住宅新築資金等貸付金、災害援護資金貸付金の未納額は前年度より減少しているものの、依然として多額である。また町民税や固定資産税では新規滞納者も出ている状況である。未納者も多重債務化の状況にはあるが、未納額が財政運営に及ぼす影響は大きいことを引き続き念頭に据え、町長以下職員が丸となって、未納者個々の実態把握と新たな未

納者の抑制など、細心の対策を講じながら未納額の徴収、回収に努められたい。

② 歳出に関する事項

歳出では、主に事業の執行状況、効果等について審査を実施した。

民生、教育、産業分野など幅広く事業は行われているが、主な事業としては、庁舎空調設備更新事業、防災基地整備事業、道路橋梁修繕事業、農林業施設災害復旧事業などが挙げられる。

予算現額35億6083万1千円に対し、支出済額は32億9308万3271円、翌年度繰越額6343万8千円で、翌年度繰越額を予算現額から除いた執行率は94・16%であった。

不用額は2億430万9729円と多額であり、当初予算を編成する際は、十分考慮した予算編成とされたい。また、執行状況によっては、必要に応じて減額補正するなどの対策を講じられたい。

さらに事業実施の際には、財源の確保を図るとともに、予算執行にあたっては最小の

経費で最大の効果が得られるようさらに工夫されたい。

③ 財産に関する事項

財産に関する調書及び定額運用基金の運用状況についても正確と認められる。

財政調整基金、公共施設等長寿命化基金をはじめとする基金総額は、22億8861万4千円と増加しており評価できるが、今後は活用方法も検討されたい。

2 特別会計

① 国民健康保険特別会計

決算での実質収支は、181万6016円で、おおむね良好である。

歳入の状況は、調定額4億2106万265円に対し、収入済額は3億9853万362円、収入未済額は2252万9903円、徴収率は94・65%となっている。国民健康保険税については、新たな滞納者も増えているので、徴収についてさらなる努力をされたい。

歳出の状況は、支出済額3億9671万4346円、不用額2748万4654円で、

執行率は93・52%となっている。

② 介護保険特別会計

決算での実質収支は、4124万9345円となっている。

歳入の状況は、調定額6億4846万691円に対し、収入済額は6億4846万691円で、収納率は100%となっている。介護保険料は前年度一部未納となったが、令和元年度は全額徴収されており評価できる。

歳出の状況は、支出済額6億721万1346円、不用額1億1884万2654円で、執行率は83・63%となっている。昨年と比較しても多額の不用額が発生している。今後の保険給付費の算定にあたっては精査を行っていただきたい。また、介護予防の取り組みについてもさらに努められたい。

③ 後期高齢者医療保険特別会計

決算での実質収支は、19万1200円で、おおむね良好である。

歳入の状況は、調定額5億381万2353円に対し、収入済額も同額で、収納率は100%で評価できる。

歳出の状況は、支出済額5362万1153円、不用額98万6847円で、執行率は98・19%となっており、おおむね良好である。引き続き適正な事務処理に努められたい。

④ 簡易水道特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は0円である。歳入の状況は、調定額7億524万6120円、収入済額7493万6160円、収納率99・59%となっており、おおむね良好である。収入未済額は30万9960円と昨年より若干ではあるが増加しており、現年分で2件の新規滞納者がでている。滞納分の取り扱いについては引き続き検討されたい。

歳出の状況は、支出済額7億493万6160円、不用額100万1840円で、執行率は98・68%となっており、予算執行はおおむね良好である。

今後も町民生活の向上を図るため、適正な維持管理に努められたい。

⑤ 公共下水道事業特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は0円である。歳入の状況は、調定額1億5815万3943円、収入済額1億5806万1003円、収納率99・94%の状況であり、おおむね良好である。滞納分1件の取り扱いについては引き続き検討されたい。

歳出の状況は、支出済額1億5506万1003円、翌年度繰越額1億3100万円、不用額624万8997円で、令和2年度への繰越額を除いた執行率は96・13%となっており、予算執行は概ね良好である。

今後も町民生活の向上を図るため、加入促進と適正な維持管理に努められたい。

⑥ 農業集落排水事業特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は0円である。歳入の状況は、調定額38

23万495円、収入済額3819万5975円、収納率99・91%の状況であり、おおむね良好である。前年度からの滞納2件が解消しておらず対応について検討されたい。

歳出の状況は、支出済額3819万5975円、不用額47万7025円で、執行率は98・77%となっており、予算執行は良好である。

今後も町民生活の向上を図るため、適正な維持管理に努められたい。

6 地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定による財政健全化判断比率について

4指標の内、実質赤字比率、連結実質赤字比率は、いずれの会計も実質収支が黒字となっているため問題はなく、将来負担比率は、基金の積み立ての増加などにより、マイナス数値となっており問題は無い。

実質公債費比率についても、早期健全化基準の25・0%を下回る7.4%であり、年々健全化に推移している。しかし、地方交付税に依存



している本町は、国内情勢により大きく左右されるため、より一層の創意工夫と危機感をもって予算執行にあたられたい。

本委員会において、上記のとおり決定したので報告します。



委員会報告

総務経

常任委員会

畜産農家との意見交換会

委員会では、日野町内で活動をされている各分野の事業者の方々と意見交換を



行っています。昨年は農業に焦点を合わせ、本町農業の将来展望についてお話を聞きました。このコロナ騒ぎでしばらく活動を自粛しておりましたが、このたび再開することとし、今回は畜産農家を訪問し、意見交換をさせていただきました。訪問先は、舟場の大下さんと下樓の西村さんです。



課題としてあがったのは、以下の通りです。

○施設の老朽化。いずれも

教育

常任委員会

当常任委員会は附託されていた「教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係わる意見書の提出について」について審査。「意見書第4号」（6P）として提出しました。

当委員会は今後「義務教育学校」建設にかかわる事業についての検証も今後の課題として取組みを行う予定です。ただし、3つの「検討委員会」がそれぞれに立ち上げられて課題の検討が始まっていますので、基本的には、そこの議論の障害にならないようにしながら住民のみなさんの声が十分検討され、議論が進むようにしていきたいと考えています。



義務教育学校予定地の現根雨小学校

他にも検討すべき点は、町づくりの問題など多岐にわたります。医療・福祉・介護等も当然あります。

議会改革

特別委員会

現在、議会開催時においても、新型コロナウイルス感染を避けるための対策をとっています。傍聴される方の入場の際にご不便をおかけしているかとも思いま

すが、なにとぞご理解とご協力をお願いします。私たち議員もまた、必ずマスクをし、3密を避け、議場と議員控室の机にはウイルス飛沫防止の亚克力板を設置して会議を進めています。

町ホームページから

議会中継録画を

議会の中継放送は「チャンネルひの」でご覧いただけますが、放送時間帯に外出などされていて視聴できない方のために、町では放送録画をインターネットで視聴できるよう計っています。

議会広報

常任委員会

広報誌作り研修会に参加

議会広報誌作りについては、毎年、県内の町村議会との広報常任委員会一堂に会し、誌面作りの研修を受けています。

しかし、今年8月5日、湯梨浜町で行われた研修会では、コロナ対策のため各町村からの参加者は3名までという制限が課せられました。

た。けれど、全員欠席する町もある中、日野町は上限3名が出席し、広報誌作りのノウハウを学びました。

その成果のひとつが、今号のささやかな変身です。

お気づきのように、誌面を若干新しくしました。読者の皆様により読みやすく、また関心を持つていただける内容になることを目指したものです。



しかし、これで十分だとは考えていません。まだまだ改善の余地があり、あと数号はさまざまに試行錯誤を続けることになりそうです。読者の皆様からも誌面に対するご感想やご意見をいただけたら幸いです。



自治功労者表彰受賞 安達幸博議員様

町村議会議員として通算18年以上在籍し、町議会活動に功労されました。

(令和2年8月25日)



CATVひのチャンネルで議会中継にジャンプします。ぜひ、ご覧ください。

・このQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると議会中継の録画も見られる「チャンネルひのの過去放送ページ」へアクセスできます。



松尾 信孝議員

Q 最善のパワハラ防止策は

A 日ごろのコミュニケーションが大切



パワハラのない職場を

議員 社会の変化、価値観の多様化に伴い、パワハラの問題が浮き彫りになってきています。町内の職場や役場でも他人ごとではない時代になりました。まず、パワハラについて町長の基本的な認識を伺います。

議員 役場内で、職員がパワハラを訴える相談窓口はありますか。

町長 「衛生委員会」という窓口があります。

議員 「衛生委員会」は、昭和62年にできた、専ら衛生面に重きを置く機関ではないですか。昨

町長 パワハラは、人格・人権の否定につながり、放置すれば、職場の労働効率、業務停滞、休職職などにより、業務全体に悪

議員 ふるさと納税を活用しての日野病院の支援について、所見を伺います。

町長 愛と元気の日野町ふるさと納税条例の下に取り組んでいます。町が定めている使い道を選んでいただき、活用しています。今後も寄附金額の増額を目指して事業を展開したいと思います。

議員 パンフレットには6項目の使い道の記載があります。しかし、条例には、日野高魅力化向上促進する事業、移住・定住を目的としたまちづくり事業の記載がありません。

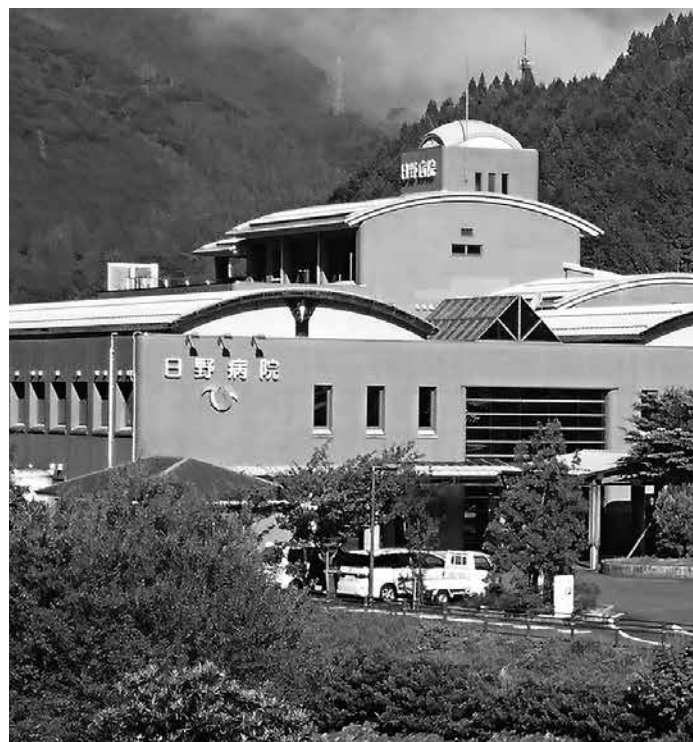
町長 使途について非常に関心が高いので、明示する改正をします。



安達 幸博議員

Q 病院支援をふるさと納税で

A 病院支援を条例に追加



中山間地域の医療のかなめを担う日野病院

議員 日野病院への負担金の仕組みを尋ねます。ふるさと納税の使い道に医療の充実を項目に加えるか、日野病院を支える基金創設するかが必要だと思います。

課長 町が日野病院に支出する負担金は、運営費と高額な建設改良費です。高額な医療機器の導入や、建設改良費に対して事業費が5000万円を超えると、日野病院がその事業費に対して2分の1を、残りの2分の1を構成3町の日野町



財源確保のためにも「ふるさと納税」を活用

議員 日野病院への負担金が80%、江府町が15%、伯耆町が5%の負担割合が決まっております。

町長 周辺人口の減少が続けば追加負担金が生じ、また今後の大規模改修等を想定すると、備えは必要と考えられます。

ふるさと納税の使い道に医療の充実を追加することには、前向きに検討します。日野病院を支える基金につきましては、その内容を十分に協議し検討したいと思います。

町長 今年10月に職員を対象にした研修会を開催します。

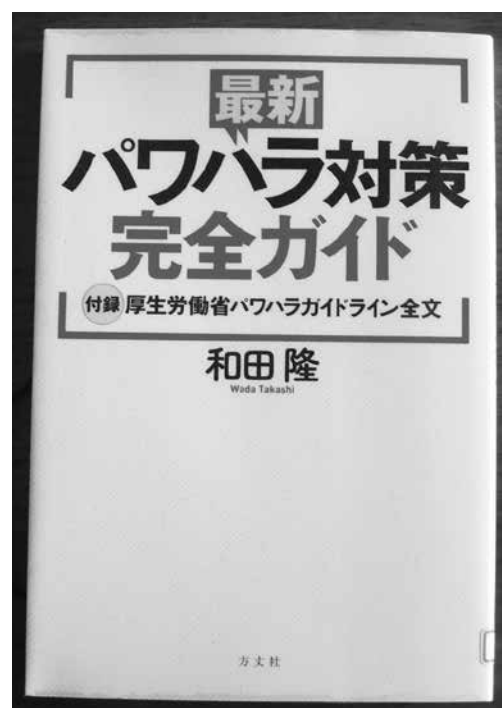
議員 研修会は一過性に終わらないで継続されたいと思います。研修会を役場以外にも開放して共有するつもりはないでしょうか。

町長 人権問題として、今後の社会教育活動の中に組み込めると考えます。

住民との対話の成果について

議員 義務教育学校準備に於ける小学校統合問題で、最難関と思われる黒坂地区の理解が得られたのは、町長が直接出向いて住民と対話された結果だと思います。今後その姿勢を続けてください。

町長 そうしたいと思っています。



参考書は図書館にもあります



佐々木 求議員

Q 西部広域行政管理組合の10月中結論はあまりに拙速

A くぬぎの森の大規模改修も選択肢

議員 西部広域行政管理組合は、5月に一般廃棄物処理施設整備基本構想案を打ち出し、10月で結論を出すように求められました。

可燃ごみ・不燃ごみ・最終処分場と一体で令和14年に向けて整備しようとしています。

余りにも結論を拙速に求めています。地球温暖化や廃プラスチック問題が深刻な事態にある時、

パリ協定や昨年改定されたバーゼル条約も真剣に受け止めるべきです。

ごみの徹底した分別・減量化を進め、小型炉でもダイオキシン対策も技術的に進んできています。ストックヤードの建設も前回大問題でした。今回も平等割が20%など、とんでもない負担です。

集めて燃やせばいいという考えは改めるべきです。



クリーンセンターくぬぎの森

町長 平成13年に西部広域の基本計画が策定された昨年度に基本構想がまとめられ、令和14年までに整備していきます。くぬぎの森の大規模改修も一つの選択肢と考えています。

議員 農家へのコロナ対策である持続化給付金申請の支援策はどうしていくのか。

町長 農業者個人に対しての支援策は確定申告・住民税の申告を行ってれば、1月から12月のいずれかの月の月収が50%以下の場合、最大100万円支給されるものです。

制度のPRのため、ホームページや集落説明会やJA日野支所窓口で制度概要のチラシを置いて対応します。



稲のハデ干し風景



山形 克彦議員

Q 競争の原理が働かない「公募」はメリットが無いのでは

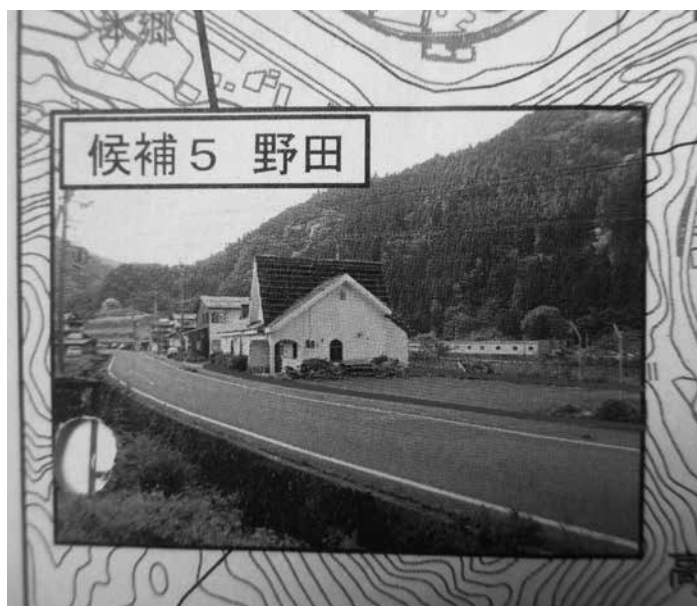
A 用地交渉をしないで容易に用地取得が出来る

議員 土地の購入単価を決めて「公募」することとは、競争の原理などの働く要素が無く、メリットが無いと思われるが「公募」とする理由は。

町長 用地取得の一番難しいのは用地交渉とされています。そういった中で「公募」は、用地提供の心づもりがあることにより取得が容易にできると思っています。

議員 住宅事情は逼迫した状況にはないと思いますが、「公募」の目的に建設可能な民有地を把握するためとされているが、把握されてどうされる考えですか。

町長 色々な面を考えれば、若者向け住宅はまだ必要と思っています。また、この手法については、一つの有力な方法と思っています。



若者向け住宅建設予定地

議員 この度、応募された方の中には、寄付を考慮されていた方もあったように聞こえますが、方法によっては無償で用地が求められ、支出の削減に繋がると考えますが、副町長にそうした考えはありませんでしたか。

副町長 最小の経費で最大の効果をあげることは当然希望するところですが、今回は場所を決めるだけの内容であり、そのような深い考えに及ぼしていません。



新しく開通した根雨駅西側の町道

議員 費用便益分析では1日に車が100台通行し、50年間の便益（投資効果）を計算したとのことですが、通行量はどのような状況ですか。

町長 1日に35台ほど通っているように思っています。100台には届いていませんが、交通安全の要素もあり、引き続き広報をしたいと考えています。





新連載
スタート!

日野に生きる

第1回 下黒坂初音句会

四季のある暮らしの中で

毎号、表紙と裏表紙をつないでお届けしている活動団体や個人の紹介。今号から『日野に生きる』と題して再スタートします。

毎月各家庭に配布される『図書館だより』の最終ページ。その右隅に掲載される俳句を提供しているのが、下黒坂初音句会の皆さんです。

俳句は日記の役目も

兼業農家の主婦たちが句会を立ち上げたのは、平成5年のこと。

「ある人に俳句の作り方を教えてもらったのですが、これは面白そうだと思って、その頃パートで働いていた職場の仲良しさんたちに声をかけて始めたのが最初です。あの頃はまだ若かったから、みんな勢いがある

った(笑)」（世話役の頭本まさほさん）

それから27年、毎月ほぼ休むことなく続いてきた句会ですが、1度だけしばらく休会した当時のことを、会員は忘れることができません。平成12年10月6日、鳥取西部地震。

・地震の夜の車に夜露しのぎけり (まさほ)
・うそ寒し余震絶へざる家に住み (まさほ)

全壊した我が家を離れ、車の中で眠れない夜を過ごしたあの日、余震のたびに身を固くして家族のことを気遣った日々・・・

俳句は日記の役目も果た



お互いに批評し合います

し、こうして日々の暮らしや家々の歴史を記録し続けています。

俳句と畑は健康と長寿の源

・耕運機よろよろ入る春田かな (律子)

今年91歳になられる方が70歳の時に詠まれた句です。さすがに今は田仕事はされませんが、畑作業は現役です。

・打ち返す土黒ぐろと夢の生れ (律子)

今年はある種を蒔いて、あの苗を植えて・・・と、畑を耕しながら次々と夢が生まれてきます。俳句も野菜作りも、健康と長寿の源なのです。

・田に畑に春の土あり共に生く (広江)

土と共に生きる！前句もこの句も、土地に対する感謝、農に生きる者の喜びが満ち溢れています。

会員は女性ばかり6人。下黒坂を中心に黒坂や根雨から通う会員もいて、そのうちの2人は新人会員です。



毎日の暮らしを句に詠みます

・餅を搗く音と歓声入り混じり (美千子)

下黒坂では毎年の晩秋、全住民が参加して収穫祭が行われます。

・ゴミ拾い終えて寄り道一服す (ツヤ子)

クリーン作戦に参加した帰り道、近所の縁側でお茶をいただきながら談笑する光景です。

「日野町には四季があつて、山や川や田んぼや畑があつて、俳句の材料がいっぱい。いい町ですよ」

高齢を迎えても、ささやかであれ自分の仕事を持ち、趣味を通して人と交わる。日野町の四季と自然と風土は、そうした暮らしを後押ししてくれています。

あとがき

より読んでもらうために、より読みやすくするために、広報常任委員会では、議会だよりの研究をしています。

昨今は、全国の自治体の議会だよりをインターネットで見ることができ、賞を取るような優秀な議会だよりを閲覧し、記事の内容やデザインを研究しています。また、委員はこれまでの歴史も研究するため、32年前の「ひの議会だより1号」から目を通していきます。広報関連の研修会があれば出向き、新聞社の方などに話を聞いたりもしています。

研究の成果は、誌面に出していきます。

(記 中山法貴)

議会広報常任委員会

委員長 金川 守仁

副委員長 梅林 敏彦

委員 佐々木 求

委員 中原 信男

委員 松尾 信孝

委員 中山 法貴

